

事後評価結果

事後評価結果			番号
事業名	山地災害総合減災対策 治山事業	地区名	篠本
着工年度	平成23年度	関係市町村名	横芝光町
事業完了年度	平成25年度(繰)	事業主体名	千葉県
〔事業内容〕			
1 施工面積	A = 0.29ha (保全対象の概要: 人家7戸、道路0.3km、農地1.0ha)		
2 事業費	104,719千円		
3 工期	平成23年度~平成25年度(繰)		
4 事業量	主な工事内容		
	土留工 L = 142.2m	法枠工 A = 2,041.5m ²	
	法切工 V = 4,450.0m ³	筋工 L = 46.8m	
	柵工 L = 38.0m	伏工 A = 942.4m ²	
	水路工 L = 31.9m	植栽工 N = 761本	
内部評価結果	<p>本事業の実施により、山腹斜面の崩壊や土砂崩落等の被害が防止され、地域住民の重要な生活基盤である人家、道路、農地等が中長期的にわたり保全・維持されるなど当地区の山地災害防止機能が大幅に増加しており、事業計画どおりの効果が得られた。</p> <p>今後は、地域住民のさらなる防災意識の向上のため、治山事業や山地災害危険地区等を効果的に普及啓発していくとともに、施設の長寿命化のための個別施設計画を策定し、定期的な点検・診断や地域住民の協力のもと施設の維持補修等をしていく必要がある。</p> <p>以上のとおり、本地区は【AA】事業計画どおりの効果が得られている。</p>		
審議結果	<p>該当するものの()に 印を記入</p> <p>()【AAA】事業計画以上の効果が得られた</p> <p>()【AA】事業計画どおりの効果が得られた</p> <p>()【A】概ね事業計画どおりの効果が得られた</p> <p>()【F】事業計画どおりの効果が得られなかった</p>		
審議会意見	<p>事業計画どおりの効果が得られた。</p> <p>全体的な意見として、人家の裏山はかつて住民に管理されていたが、現在は高齢化等により裏山の管理が困難となり、山地が荒廃し、事業実施の要望につながっていると考えられる。工事で安全を確保するとともに、住民が山地を活用することで機能を維持できる制度づくりなどを行政として検討されたい。</p> <p>また、当該事業のような工事は多額のコストを要する一方、自治体の予算は限られている。長期的な「安全」や「コスト縮減」を踏まえた土地利用のあり方を検討することも必要ではないか。</p>		